



平成28年10月18日（火）			
担当課	担当係	担当者	電話番号
(公社)岐阜県緑化推進委員会	—	黒崎隆司	058-273-7577

平成28年度「森の名手・名人」認定証伝達式を開催します

公益社団法人国土緑化推進機構では、平成14年度より森に関わる樵、木地師、大工、椎茸生産等を生業とし、他の模範となっている達人を「森の名手・名人」として認定しています。

今年度、下記の方々を候補者として国土緑化推進機構へ推薦したところ、過日、「全国選定委員会」で「森の名手・名人」に選定されました。

このたび、「森の名手・名人」に認定された方々に対して、矢島成剛会長（県議会議長）から下記のとおり認定証をお渡しする伝達式を開催しますので、お知らせします。

また、秋期「緑の募金」活動（10月31日まで）を行っていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

記

- 日時 平成28年10月24日（月） 16時00分～16時30分
- 場所 岐阜市藪田南2丁目1番1号 岐阜県議会棟 岐阜県議会議長室
- 伝達者 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 会長 矢島 成剛（県議会議長）
- 「森の名手・名人」の認定を受けられた方々とその功績

ながの みつる
長野 満 森づくり部門（林業（作業道開設等）） 本巣市

- ・今までに、110路線、100kmの作業道を開設し、現地踏査から補助金申請、バックホウオペレーターまでをこなす、道づくりのスペシャリストです。
- ・長野さんの道づくりの流儀は、①森林所有者の思いを一番大切に ②所有者にも会社にも利益になること ③創意工夫を重ねることで、これらを基本に、災害に強い道づくりを実行されています。

おぐら とういち
小椋 東一 加工部門（木地師） 中津川市

- ・実父から承継した林業技術により、鋸や斧を使って叩き挽きの材料となる樹木（トチノキやハリギリ等）を伐採し、「フシ抜き」「木取り」、斧を使って茶びつ等の内側をくり抜くなど、日本古来の手作業による技術を駆使して、作品を作り上げることが出来ます。また、次世代を担う木地師への技術指導にも力を注ぎ、後継者育成に努められています。

<参考>

1 「森の名手・名人」について

「森の名手・名人」は、森に関わる生業や地域活動に染み込んだ営みのうち、優れた技をもってその業を極め、他の模範となっている達人のうちから、「森の名手・名人全国選定委員会」が選定し、公益社団法人国土緑化推進機構が認定した人のことをいいます。（平成14年度から）

「森の名手・名人」には、「森づくり」「森の恵み」「加工」「森の伝承・文化」の4部門があります。

2 「平成28年度現在の認定者」

本年度認定者	全国	63名	岐阜県	2名
これまでの認定者	全国	1,258名	岐阜県	47名

（愛媛県56名 長野県53名について、全国3位です。）

3 「聞き書き甲子園」について

全国から応募した高校生が、森・川・海の名人を訪ね、知恵や技術、人生を聞き書き記録する「聞き書き甲子園」（今年で15回目）が実施されており、本県で認定された2名の方々も、これから高校生の取材を受けることになっています。

なお、高校生の作品は、聞き書き甲子園実行委員会が発行する作品集に取りまとめられる他、岐阜県で「森の名手・名人」の認定を受けられた皆様については、（公社）岐阜県山林協会が発行する「森林（もり）のたより」に順次掲載しています。